

バスの来ないバス停プロジェクト

一般社団法人 愛知県グループホーム連絡協議会 東三河ブロック代表

元町グループホーム

管理者 内藤 きみ子

グループホーム もみじ・きのみ

管理者 伊藤 和紘

グループホーム ジョイア・ミユキ

管理者 武田 誠

プロジェクトメンバー

構成メンバー

- ◆豊橋鉄道株式会社
- ◆一般社団法人愛知県グループホーム連絡協議会
東三河ブロック 会員
- ◆豊橋市社会福祉協議会 地域包括支援センター
認知症地域支援推進員
- ◆特定非営利活動法人 ぽかぽかの森

バスの来ないバス停とは？

豊橋には、バスの来ないバス停がある事をご存じでしょうか？

このバス停ですが、いくら待ってもバスは来ません。

その背景には、認知症の方の意思を尊重した「優しいウソ」が隠されています。

その発祥は、ドイツの養護施設と言われています。認知症の患者さんが、勝手に外に出てしまう事への対応に頭を悩ませており、もはや存在しない自宅や家族の所に帰ろうして行方不明になり、警察の世話になることも頻繁にあったそうです。施設の担当者は、彼らが自分たちの移動の足として公共交通機関を利用しようとする昔からの習慣に気づき、遠くまで行ってバス停を探さずにすむように、施設のすぐ側にバス停の看板を立てた事が始まりでした。

システムの効果は絶大で、今ではヨーロッパ中の多くの養護施設が偽のバス停を立てていると言われていました。

この方法は、認知症の症状を利用した「入居者だまし」にも見えるかもしれませんが。しかし短期記憶障害のある人に真実を伝えても、どのみちその記憶を留めておく事は出来ません。施設スタッフの気苦労だってあります。

真実を伝えた所で、それは残酷で本人を傷つけるだけです。その人の信じる現実を共に見ることが出来れば、本人も納得することが多くあると思われれます。

施設から見える偽のバス停は、「いつでも行きたい所に行けますよ」と無言のメッセージを送る、優しいウソなのです。

グループホームにバス停を設置すると

グループホームは、認知症の方が共同で生活をする施設です。

バスの来ないバス停をグループホーム敷地内に設置する事で、入居者の方が家に帰りたいたいといった願望に、バス停を使い寄り添う事が出来ます。

入所中の為に実際に帰宅することは出来ないが、ただ帰れないと言われても理解は出来ず、自分の思いは叶わない。家に帰るための次のアクションとして、バス停で待つ行為により、自分が帰るための行動が出来る事に満足感と達成感が出る。しばらく一緒にベンチで話をしたりしていると、認知症状の短期記憶障害もあり、なぜここにいるのかも忘れてしまう。

「お茶でも飲みに行きましょう」など声を掛けると、本人も「そうですね」と施設の中に戻ることが出来ます。本人が納得の出来る対応が可能となる。

バス停を使った事例

2023.2.17 (金) 天気 晴れ 気温 9℃

- 9 : 30 施設フロア内で過ごしていたが、帰るからと職員に何度も訴える。
- 10 : 30 事務所に来て「1度帰らせていただきます」と何度も挨拶をされる。
- 11 : 15 職員の説明が理解できず、少し不穏な表情が見え始める。
- 11 : 30 玄関のバスの来ないバス停に誘導すると、「ありがとね」と笑顔で握手。
バス停の時刻表を見ながら、どこの病院に行こうかと職員に話をされる。
- 11 : 35 「バスに乗っている間にトイレに行きたくなるといけないので」と、
施設内のトイレに行き、再度バス停の前のベンチでバスを待つ。
- 11 : 45 「寒いね」と笑顔でフロアに戻ってくる。バスの到着時間がまだ先であることが理解できた様で安心された様子。
- 11 : 55 昼食の時間となり、他入居者と一緒に食事をとられている。
この時点で、「帰る」といった気持ちは収まり、穏やかに過ごされる。

地域との繋がりと認知症啓発

認知症で道に迷われた方や徘徊者は、自分がどこにいるのかわからなくなると、何か目印になりそうなものを探します。実際の徘徊者発見場所として、バス停付近で見つかることもあるそうです。バスに乗ればと考えるのでしょう。

そこでグループホームの敷地内にバスの来ないバス停を設置する事での、もう一つの活用法があります。グループホームの敷地内にあるバス停にはバスは来ません。しかし、そのバス停周辺のベンチに一人座っている方がいるようであれば、きっと不安を抱えて困っている方だとすぐわかります。声を掛けることで、道に迷っていたり、認知症の方の早期発見に協力ができるようになります。

また、地域住民の皆様にも、バスの来ないバス停を理解してもらう事により、「ここに一人で座っている方がいれば、施設に知らせればいいのね」と協力してくれます。

これこそ一番の認知症啓発活動、地域の皆さんとの繋がりが増え、社会貢献に役立てることが出来ます。

豊橋市内に設置されている バスの来ないバス停

- ◆特定非営利活動法人 ぽかぽかの森 認知症カフェ アンキカフェ
豊橋市神野新田町ワノ割107
- ◆元町グループホーム
豊橋市南大清水町字本町151番地
- ◆グループホームジョイア・ミユキ
豊橋市東幸町字長山8番地の1
- ◆グループホームもみじ
豊橋市大村町字山所77番地
- ◆グループホームきのみ
豊橋市石巻本町字狭間10番地の8

令和5年3月現在、豊橋市内には5基のバスの来ないバス停が設置されています。

ご興味がある方は是非ご見学ください。

特定非営利活動法人 ぽかぽかの森 認知症カフェ アンキカフェ 豊橋市神野新田町ワノ割107

豊橋市内において第1号のバスの来ないバス停



元町グループホーム

豊橋市南大清水町字本町151番地



グループホームもみじ

豊橋市大村町字山所77番地



グループホームきのみ

豊橋市石巻本町字狭間10番地の8



グループホームジョイア・ミュキ

豊橋市東幸町字長山8番地の1



グループホームにバス停が寄贈された時の様子

令和4年11月15日に、豊橋鉄道様より4基のバス停が寄贈されました。

当日は、東海テレビのスイッチさんの追っかけ取材もあり

グループホームの入居者・職員も、とても喜んでいました。



寄贈された時の様子

11月17日には、東海テレビで放送され、施設でも入居者の皆さんと一緒にテレビを見て喜んでいました。



バスの来ないバス停の周知活動

令和5年2月2日には、韓国から福祉の勉強をしている大学生3名が、豊橋まで来られ、バスの来ないバス停についてのインタビューを受けました。

日本と韓国の福祉状況との違いや、バス停の意味など興味津々でした。

インターネットで、バスの来ないバス停を知ったようでした。



2月16日には、NHKより、「ようこそ認知症世界へ」の番組でも、バスの来ないバス停が取り上げられ、テレビ取材を受けております。

放送日 令和5年3月30日 予定

2月10・11日の2日間 メタバース 東三河ラピュタさんのイベントで、
バスの来ないバス停の動画を仮想空間内スクリーンで流していただきました。



これからのバスの来ないバス停プロジェクト

令和5年度さらに4基のバス停が増える予定となっております。

しかし、バス停の設置に関しては、ある程度ルール作りも必要です。

豊橋鉄道さんで、実際に使われているバス停であるため、ご迷惑をかけないことは絶対条件であります。やみくもにあちこちに設置するのもどうかと思いますし、バスの来ないバス停を設置する趣旨をよくご理解いただいた上で設置していかないとただの「飾り」になってしまうかもしれないという懸念もあります。

認知症にやさしい街豊橋を目指し、認知症啓発と社会貢献が出来て行けたらと考えています。

バスの来ないバス停プロジェクトは、今後も継続して進んでいきます。

ご清聴ありがとうございました。